

## JA 自己改革推進レポート（JA 鳥取いなば）5月号

### （1）パッキング事業を開始

JA 鳥取いなば営農部は4月1日、農産物直売所への出荷を手助けするため「アタック 888 パッキング事業」を始めた。栽培はしているけれど高齢化や人手不足などで出荷作業が難しいなどの問題を解決するため、同JAが生産者に代わって袋詰めし、直売所へ出荷する事業。出荷量の増加を促し、JA 自己改革の目的の一つである「農業者の所得増大」に取り組む。



### （2）岩美支店が小学生と梨の交配作業体験

JA 鳥取いなば岩美支店は4月18日、町立岩美南小学校の3年生児童を対象に二十世紀梨の交配作業体験を行った。支店行動計画の一環で、交配作業、袋掛け、収穫を行う食農教育。体験学習では、JA 営農指導員が梨の栽培手順や交配作業の大切さなどを説明。児童と先生と一緒に学び、農業の知識や興味を深めてもらった。



### （3）フレッシュミズ親子会で苗の定植

JA 鳥取いなばフレッシュミズ部会福部支部は4月20日、野菜苗の植付け講習会を福部支店駐車場で開いた。会員同士の交流と食農教育が目的。野菜の植付けや栽培、収穫を体験してもらうことで、食と農の大切さを親子で楽しみながら学んだ。



### （4）八東支店が清掃活動に参加

八頭町で4月20日、「八東川クリーンアップ大作戦」が開催された。JA 八東支店職員も参加し、3会場で学生や役場職員、各企業団体など約350人が集まり、八東川河川敷の空き瓶や空き缶、ペットボトル、ビニール類などを拾い集めた。予想以上のゴミが集められ、清掃の成果が出た。今後も活動に参加し、八東川の清掃に協力していく。



